

2023 年度

2 学年（第 55 期生）シラバス

秋田県歯科医療専門学校  
歯科衛生士科

科目名	口腔衛生学Ⅱ		
担当講師	山野 浩樹	柏木 了	
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	2 学年前期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学
参考書	
一般目標 GIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔衛生学の意義を理解し、歯・口の正常像について習得する。</li> <li>・地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を理解する。</li> </ul>
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次予防・第二次予防・第三次予防の各段階について内容を理解し、それぞれ臨床と関連づけることができる。</li> <li>・地域歯科保健活動とは何かを理解する。</li> <li>・母子・学校・産業・成人・老人歯科保健などの主な活動分野での歯科衛生士の役割を理解する。</li> </ul>
評価 EV	定期試験 100%
<p>担当講師より： 受講態度も評価とする。居眠り等注意してください。 (著しく不良な場合、減点対象となります)</p>	

時間	担当者	講義・実習項目	
1	山野	講義・演習 実習	口腔衛生学とは
2	山野	講義・演習 実習	健康の概念 予防医学の概念 歯・口腔の健康と予防
3	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ①
4	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ②
5	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ③
6	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ④
7	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ⑤
8	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ⑥
9	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ⑦
10	山野	講義・演習 実習	地域保健・公衆衛生 ⑧

時間	担当者	講義・実習項目	
11	山野	講義・演習 実習	成人保健 ①
12	山野	講義・演習 実習	産業保健 ①
13	山野	講義・演習 実習	産業保健 ②
14	山野	講義・演習 実習	老人保健 ①
15	山野	講義・演習 実習	老人保健 ②
16	山野	講義・演習 実習	老人保健 ③

時間	担当者	講義・実習項目	
1	柏木	講義・演習 実習	歯・口腔の健康
2	柏木	講義・演習 実習	歯・口腔の構造
3	柏木	講義・演習 実習	歯・口腔の成長・発育 ①
4	柏木	講義・演習 実習	歯・口腔の成長・発育 ②
5	柏木	講義・演習 実習	歯・口の機能 ①
6	柏木	講義・演習 実習	歯・口の機能 ②
7	柏木	講義・演習 実習	口腔の健康と全身の健康 ①
8	柏木	講義・演習 実習	口腔の健康と全身の健康 ②
9	柏木	講義・演習 実習	国際保健
10	柏木	講義・演習 実習	災害時の口腔保健
11	柏木	講義・演習 実習	母子保健 ①
12	柏木	講義・演習 実習	母子保健 ②
13	柏木	講義・演習 実習	学校保健 ①
14	柏木	講義・演習 実習	学校保健 ②

科目名	歯科衛生統計		
担当講師	木村 寛	伊藤 淳	
授業時間	単位数	履修時期	
3 1 時間	2 単位	2 学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生統計の基本的な考え方を理解し習得する。
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データを目的に即して整理でき、またその集団の特徴を代表値や散布度の概念を用いて述べることができる。</li> <li>・ 2 変数の関係を統計的に述べることができる。</li> <li>・ 標本から得られた情報を基にして、母集団の特性を推測(推定・仮説検定)することができる。</li> </ul>
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：根号の計算ができる電卓を持参のこと。  
(安価なもので可能です。)

時間	担当者	講義・実習項目
1	木村	講義・演習 実習 歯科衛生統計の概要 (記述統計と推測統計)
2	木村	講義・演習 実習 データの特性、度数分布表とヒストグラム
3	木村	講義・演習 実習 集団の代表値
4	木村	講義・演習 実習 集団の散布度
5	木村	講義・演習 実習 相関
6	木村	講義・演習 実習 母集団と標本、正規分布、t 分布
7	木村	講義・演習 実習 統計的推定の考え方
8	木村	講義・演習 実習 統計的仮説検定の考え方
9	木村	講義・演習 実習 1 標本の場合の仮説検定
10	木村	講義・演習 実習 t 検定

科目名 歯科衛生統計

時間	担当者	講義・実習項目	
11	木村	講義・演習 実習	相関係数の検定
12	木村	講義・演習 実習	カイ二乗検定
13	木村	講義・演習 実習	ノンパラメトリック検定
14	木村	講義・演習 実習	保健情報の多変量解析、図表の種類と特徴・作り方
15	木村	講義・演習 実習	情報化社会の特性、個人情報保護と情報倫理

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学
参考書	
一般目標 GIO	歯科衛生統計の概念を理解し、日常臨床や公衆衛生の場で発揮できる技術を習得する。
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生統計の意味を述べることができる。</li> <li>・ 歯科衛生統計の手順を示すことができる。</li> <li>・ 歯科衛生統計に用いられる指数を列挙し、活用することができる。</li> </ul>
評価 EV	定期試験 100%
担当講師より：	

時間	担当者	講義・実習項目	
1	伊藤	講義・演習 実習	保健情報とは
2	伊藤	講義・演習 実習	保健情報の種類
3	伊藤	講義・演習 実習	国家統計調査について
4	伊藤	講義・演習 実習	疫学総論
5	伊藤	講義・演習 実習	疫学の方法論
6	伊藤	講義・演習 実習	齲蝕の指数
7	伊藤	講義・演習 実習	歯周疾患の指数①

科目名 歯科衛生統計

時間	担当者	講義・実習項目	
8	伊藤	講義・演習 実習	歯周疾患の指数②
9	伊藤	講義・演習 実習	口腔清掃状態の指数①
10	伊藤	講義・演習 実習	口腔清掃状態の指数②
11	伊藤	講義・演習 実習	その他の歯科保健指標
12	伊藤	講義・演習 実習	保健情報の収集
13	伊藤	講義・演習 実習	母集団と標本抽出
14	伊藤	講義・演習 実習	まとめと復習①
15	伊藤	講義・演習 実習	まとめと復習②
16	伊藤	講義・演習 実習	まとめと復習③

科目名	衛生学・公衆衛生学		
担当講師	工藤 卓奥	小林 崇之	
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	2 単位	2 学年 前期	
時間	国家試験対策補習講義		

教科書	医歯薬出版 デンタルスタッフのための衛生学・公衆衛生学 第2版
参考書	医歯薬出版 歯科衛生シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学
一般目標 GIO	人間の健康とそれを取り巻く社会のしくみと環境因子との相互関係を理解する
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康問題を人間集団の現象としてとらえ、疾病の原因を知り、その予防、健康の増進を実行することができる。</li> <li>世界人口の増加、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、感染症の問題に対し、地球規模で考えることができる。</li> </ul>
評価 EV	定期試験100% ノートで減点

担当講師より：歯科衛生士となるための自覚をもって講義にのぞむように

時間	担当者	講義・実習項目
1	工藤	講義・演習 実習 総論 ①
2	工藤	講義・演習 実習 総論 ②
3	工藤	講義・演習 実習 疫学 ①
4	工藤	講義・演習 実習 疫学 ②
5	工藤	講義・演習 実習 人口 ①
6	工藤	講義・演習 実習 人口 ②
7	工藤	講義・演習 実習 健康と環境 ①
8	工藤	講義・演習 実習 健康と環境 ②
9	工藤	講義・演習 実習 健康と環境 ③
10	工藤	講義・演習 実習 感染症 ①

科目名 衛生学・公衆衛生学

時間	担当者	講義・実習項目	
11	工藤	講義・演習 実習	感染症 ②
12	工藤	講義・演習 実習	食品と健康 ①
13	工藤	講義・演習 実習	食品と健康 ②
14	工藤	講義・演習 実習	生活習慣と健康

教科書	医歯薬出版 デンタルスタッフのための衛生学・公衆衛生学 第2版
参考書	医歯薬出版 歯科衛生シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学
一般目標 GIO	衛生学・公衆衛生学の知識を習得する
行動目標 SBOs	地域保健、母子保健、学校保健、成人・老人保健、産業保健、精神保健について理解する。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：覚えると簡単な科目です。

授業中に集中して覚えてしまいましょう。

時間	担当者	講義・実習項目	
1	小林	講義・演習 実習	地域保健について
2	小林	講義・演習 実習	地域保健について
3	小林	講義・演習 実習	母子保健について
4	小林	講義・演習 実習	母子保健について
5	小林	講義・演習 実習	地域保健について（復習）
6	小林	講義・演習 実習	母子保健について（復習）
7	小林	講義・演習 実習	学校保健について
8	小林	講義・演習 実習	学校保健について



科目名 衛生学・公衆衛生学

時間	担当者	講義・実習項目	
9	小林	講義・演習 実習	成人・老人保健について
10	小林	講義・演習 実習	成人・老人保健について
11	小林	講義・演習 実習	学校保健について（復習）
12	小林	講義・演習 実習	成人・老人保健について（復習）
13	小林	講義・演習 実習	産業保健について
14	小林	講義・演習 実習	精神保健について
15	小林	講義・演習 実習	産業保健について（復習）
16	小林	講義・演習 実習	精神保健について（復習）

科目名	衛生行政	
担当講師	柳原 清	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	2 学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための「衛生行政・社会福祉・社会保険」第10版	
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生士として歯科医療に貢献するために、衛生行政の仕組みや歯科4法及びその他保健医療関係法規等について精通する。	
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生行政の歴史的経緯と現在の衛生行政を理解する。</li> <li>・ 歯科関連4法の熟知とともに歯科保健業務に関連の深い関係法規の内容を理解する。</li> <li>・ その他の保健衛生関連法規の概要を知る。</li> <li>・ 保健医療の動向を知る。</li> </ul>	
評価 EV	定期試験により評価する。 100%	

担当講師より : 授業中に集中して講義を聴くこと。 居眠りをしないこと。  
特に復習を重視して、覚えなければならないものは確実に自分の知識にすること。

時間	担当者	講義・実習項目
1	柳原	講義・演習 実習 衛生行政の目的
2	柳原	講義・演習 実習 衛生行政の組織 法制概論 確認試験
3	柳原	講義・演習 実習 医師法・歯科医師法
4	柳原	講義・演習 実習 歯科衛生士法
5	柳原	講義・演習 実習 歯科衛生士法 確認試験
6	柳原	講義・演習 実習 医療関係者の身分に関する法律
7	柳原	講義・演習 実習 医療法
8	柳原	講義・演習 実習 医療法 確認試験
9	柳原	講義・演習 実習 薬事に関連する法律 確認試験
10	柳原	講義・演習 実習 地域保健に関する法律

科目名 衛生行政

時間	担当者	講義・実習項目	
11	柳原	講義・演習 実習	地域保健に関する法律
12	柳原	講義・演習 実習	地域保健に関する法律 確認試験
13	柳原	講義・演習 実習	保健医療の動向 厚生関係統計調査
14	柳原	講義・演習 実習	保健医療の動向 国民の健康状態等 確認試験
15	柳原	講義・演習 実習	総復習

科目名	社会福祉		
担当講師	清水 由美子		
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	2 学年 後期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度		
参考書			
一般目標 GIO	社会保障制度における社会福祉・社会保険等の知識を習得する		
行動目標 SBOs	日本の社会保障を学び、日本の制度としての社会福祉 社会保険を一国民の視点で考える		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より： 日本の国の福祉＝生活＝政治について考える一助にしてください

時間	担当者	講義・実習項目
1	清水	講義・演習 実習 我が国の社会保障制度のなりたち 社会保障の目的と機能
2	清水	講義・演習 実習 ライフステージ別の社会保障制度
3	清水	講義・演習 実習 世界の社会保障制度 イギリス ドイツ フランス スウェーデン アメリカ
4	清水	講義・演習 実習 社会保険の沿革 歴史と今日の社会保険制度
5	清水	講義・演習 実習 社会保険行政の組織 国の行政機関 地方公共団体の機関
6	清水	講義・演習 実習 医療保険制度と法 医療保険の概要
7	清水	講義・演習 実習 年金制度と法 年金保険の概要
8	清水	講義・演習 実習 雇用保険・労働者災害補償保険制度と法
9	清水	講義・演習 実習 介護保険制度と法
10	清水	講義・演習 実習 社会福祉の沿革 歴史と制度
11	清水	講義・演習 実習 社会福祉行政の組織 社会福祉の担い手
12	清水	講義・演習 実習 生活保護制度と法
13	清水	講義・演習 実習 児童と家庭の福祉制度と法
14	清水	講義・演習 実習 障害者の福祉制度と法
15	清水	講義・演習 実習 高齢者の福祉制度

科目名	歯周療法学		
担当講師	谷本博則 佐藤直人 玉木直哉 斉藤光博		
授業時間	単位数	履修時期	
4 5 時間	3 単位	2 学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯周病学
参考書	
一般目標 GIO	歯周病の基礎的知識の修得
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常な歯周組織の組織構造と機能を理解する。</li> <li>・ 歯周疾患の分類と原因を理解する。</li> <li>・ 臨床の中でのDHの役目とは。</li> </ul>
評価 EV	定期試験 100%
担当講師より： 解らないことは講義後でもいいので質問してください。	

時間	担当者	講義・実習項目
1	谷本	講義・演習 実習 歯周治療とは
2	谷本	講義・演習 実習 正常な歯周組織の構造と機能
3	谷本	講義・演習 実習 理解度の確認とDHの仕事について
4	谷本	講義・演習 実習 歯周疾患と分類
5	谷本	講義・演習 実習 歯周疾患の原因
6	谷本	講義・演習 実習 理解度の確認とDHの臨床での役割について

**科目名 歯周療法学**

<b>教科書</b>	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯周病学		
<b>参考書</b>			
<b>一般目標 GIO</b>	歯周疾患の症状について理解し、歯周療法の目的、手技およびその方法を習得する。		
<b>行動目標 SBOs</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常な歯周組織の構造と機能を理解する。</li> <li>・ 歯周疾患の原因と病態、診査、診断法を理解する。</li> <li>・ 歯周疾患の病態に応じた治療法について理解する。</li> <li>・ 歯周治療における歯科衛生士の役割を理解する</li> </ul>		
<b>評価 EV</b>	定期試験 100%		
<b>担当講師より：</b>			
<b>時間</b>	<b>担当者</b>	<b>講義・実習項目</b>	
1	佐藤	講義・演習 実習	歯周外科治療の目的と分類
2	佐藤	講義・演習 実習	歯周外科治療の適応と禁忌・治療形態
3	佐藤	講義・演習 実習	歯周外科治療に用いる器材 種々の歯周外科治療と術後の注意点・種々の歯周外科治療（臨床例）
4	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療としてのリハビリテーション～咬合調整・矯正・補綴
5	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療としてのリハビリテーション～インプラント
6	佐藤	講義・演習 実習	インプラント周囲炎
7	佐藤	講義・演習 実習	メンテナンスの重要性と意義・メンテナンスの内容
8	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割
9	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～歯周組織検査
10	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～リスクファクターについて
11	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～SRPについて
12	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～SRPについて
13	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～歯周外科治療

**科目名 歯周療法学**

14	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～メンテナンス
15	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～メンテナンス
16	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～メンテナンス
17	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～メンテナンス
18	佐藤	講義・演習 実習	歯周治療における歯科衛生士の役割～器具器材の管理
19	佐藤	講義・演習 実習	総括（理解度についての確認）

<b>教科書</b>	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯周病学		
<b>参考書</b>			
<b>一般目標 GIO</b>	歯周病学領域における診査・診断・治療を行うために必要な基本的知識を身につけるとともに臨床の場における適切な態度を涵養する。 歯周病治療・診断のための基礎的な知識や考え方を習得する。		
<b>行動目標 SBOs</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者との適切なコミュニケーションがとれる。</li> <li>・歯周病の病態、診断の根拠、治療計画について患者に分かりやすく説明できる。</li> <li>・歯周基本治療、特にプラークコントロールの指導とルートプレーニングが行える。</li> <li>・歯周疾患の成り立ちや診断・治療、及びメンテナンスについて理解する。</li> <li>・歯周病治療における歯科衛生士の役割の重要性について理解する。</li> </ul>		
<b>評価 EV</b>	定期試験100%		
<b>担当講師より：</b>			
疑問に思う事は講義後でもいいのですぐに聞くようにしてください。 歯科治療における歯科衛生士の重要性は年々高くなっています。そのことを理解しつつ学んでもらいたいです。			
<b>時間</b>	<b>担当者</b>	<b>講義・実習項目</b>	
1	玉木	講義・演習 実習	歯周病の予防と意義
2	玉木	講義・演習 実習	歯周治療の進め方 ー ①

**科目名 歯周療法学**

3	玉木	講義・演習 実習	歯周治療の進め方 ー ②
4	玉木	講義・演習 実習	主訴を中心とした一般検査
5	玉木	講義・演習 実習	歯周病検査 ー ①
6	玉木	講義・演習 実習	歯周病検査 ー ②
7	玉木	講義・演習 実習	歯周病検査 ー ③
8	玉木	講義・演習 実習	咬合の診査
9	玉木	講義・演習 実習	画像診断 ー ①
10	玉木	講義・演習 実習	画像診断 ー ②
11	玉木	講義・演習 実習	歯周基本治療の目的と効果
12	玉木	講義・演習 実習	歯周基本治療の内容と実際 ー ①
13	玉木	講義・演習 実習	歯周基本治療の内容と実際 ー ②
14	玉木	講義・演習 実習	歯周基本治療の内容と実際 ー ③
15	玉木	講義・演習 実習	薬物療法
16	玉木	講義・演習 実習	歯周外科治療の目的と分類
17	玉木	講義・演習 実習	歯周外科治療後の治癒形態
18	斉藤	講義・演習 実習	歯周外科治療に用いる器材 ー ①
19	斉藤	講義・演習 実習	歯周外科治療に用いる器材 ー ②
20	斉藤	講義・演習 実習	歯周外科治療に用いる器材 ー ③



科目名	障害者歯科学		
担当講師	鈴木 史人		
授業時間	単位数	履修時期	
18時間	1単位	2学年 前期	
4時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学		
参考書			
一般目標 GIO	歯科における障害児者に関する知識を習得する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾病の概念を理解できる。</li> <li>・ 代表的な障害の特徴を説明できる。</li> <li>・ 行動療法を説明できる。</li> <li>・ 各種モニターの数値を理解できる。</li> </ul>		
評価 EV	単位試験・出席 100%		

担当講師より：様々な疾病と障害について理解を深めます。

：上記教科書の6章 摂食嚥下以外を担当します。

時間	担当者	講義・実習項目
1	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科の歴史と障害の概念
2	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科の関係法規
3	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科での特別な支援が必要な疾患について1
4	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科での特別な支援が必要な疾患について2
5	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科での行動調整
6	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科の実際（覚醒下での歯科治療）
7	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科の実際（静脈麻酔下歯科治療）
8	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科のバイタルサイン
9	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科での生体監視
10	鈴木	講義・演習 実習 障害者歯科での生体監視

**科目名 障害者歯科**

時間	担当者	講義・実習項目	
11	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科での感染対策
12	鈴木	講義・演習 実習	障害児者への口腔衛生指導
13	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科での偶発症
14	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科での偶発症
15	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科での口腔清掃指導
16	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科での多職種連携の実際
17	鈴木	講義・演習 実習	障害者歯科医療機関の分類と実際
18	鈴木	講義・演習 実習	まとめ（障害者歯科学会認定歯科衛生士、活躍の場）

科目名	障害者歯科学(演習)		
担当講師	大瀧 祥子		
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	2 学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学 シリーズ 障害者歯科学		
参考書			
一般目標 GIO	障害者歯科に関する知識を習得し、歯科衛生士の役割を理解する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者を取り巻く環境を理解し、口腔保健指導と関連づけられる。</li> <li>・ 多職種との連携を理解し情報収集の仕方を述べられる。</li> <li>・ 摂食・嚥下リハビリテーションの実際について説明できる。</li> <li>・ 食事指導に必要な栄養学の基本や食事介助方法について説明できる</li> </ul>		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：授業に参加して下さい。

自ら体を動かして理解を深めましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大瀧	講義・演習 実習 障害の概念 (1章)
2	大瀧	講義・演習 実習 健康支援と口腔衛生管理 (4章)
3	大瀧	講義・演習 実習 リスク評価と安全管理 (5章)
4	大瀧	講義・演習 実習 食べる機能の解剖生理 (6章)
5	大瀧	講義・演習 実習 食べる機能の発達 (6章)
6	大瀧	講義・演習 実習 発達期の摂食・嚥下障害 (6章)
7	大瀧	講義・演習 実習 発達期の摂食・嚥下リハビリテーション (6章)
8	大瀧	講義・演習 実習 中途障害の摂食・嚥下障害 (6章)
9	大瀧	講義・演習 実習 中途障害の摂食・嚥下リハビリテーション (6章)
10	大瀧	講義・演習 実習 栄養評価の必要性 (6章)

科目名 障害者歯科学 (演習)

時間	担当者	講義・実習項目	
11	大瀧	講義・演習 実習	栄養評価の実際
12	大瀧	講義・演習 実習	地域における障害者歯科 (7章)
13	大瀧	講義・演習 実習	障害者歯科と地域医療連携 (7章)
14	大瀧	講義・演習 実習	障害者の歯科保健指導の実際 (7章)
15	大瀧	講義・演習 実習	全体まとめ

科目名	高齢者歯科学		
担当講師	大淵 泰彦		
授業時間	単位数	履修時期	
15時間	1単位	2学年 前期	
時間	国家試験対策補習講義		
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学		
参考書			
一般目標 GIO	高齢者の歯科医療・口腔の健康維持増進を目的とした知識・技術を習得する。		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の特性を理解し、それに合わせた歯科診療介助を説明できる。</li> <li>・高齢者の口腔保健管理を説明できる。</li> <li>・介護予防における歯科口腔介護を説明できる。</li> </ul>		
評価 EV	定期試験100%		

担当講師より：

評価は原則定期試験のみで行いますが、受講態度が著しく不良な場合や、欠席等が多い場合は減点対象とします。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大淵	講義・演習 実習 高齢化社会、高齢社会、超高齢社会
2	大淵	講義・演習 実習 高齢化社会、高齢社会、超高齢社会
3	大淵	講義・演習 実習 高齢者にかかわる法制度
4	大淵	講義・演習 実習 高齢者にかかわる法制度
5	大淵	講義・演習 実習 高齢者の居住形態・施設および入院設備の特徴
6	大淵	講義・演習 実習 高齢者の居住形態・施設および入院設備の特徴
7	大淵	講義・演習 実習 加齢に伴う身体的機能の変化
8	大淵	講義・演習 実習 加齢に伴う身体的機能の変化
9	大淵	講義・演習 実習 加齢に伴う身体的機能の変化
10	大淵	講義・演習 実習 加齢に伴う身体的機能の変化

科目名 高齢者歯科学

時間	担当者	講義・実習項目	
11	大淵	講義・演習 実習	高齢者の精神・心理的变化
12	大淵	講義・演習 実習	高齢者の精神・心理的变化
13	大淵	講義・演習 実習	高齢者の精神・心理的变化
14	大淵	講義・演習 実習	高齢者の精神・心理的变化
15	大淵	講義・演習 実習	高齢者に多い全身疾患・障害および口腔内疾患

科目名	高齢者歯科学(演習)		
担当講師	大淵 泰彦		
授業時間	単位数	履修時期	
15時間	1単位	2学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学		
参考書			
一般目標 GIO	高齢者における歯科医療・口腔の健康維持増進を目的とした、技術を習得する。		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の特性に沿った歯科診療介助が安全にできる。</li> <li>・ 高齢者における口腔保健指導が的確にできる。</li> <li>・ 介護予防における歯科口腔介護ができる。</li> </ul>		
評価 EV	定期試験100%		

**担当講師より：**

評価は原則定期試験のみで行いますが、受講態度が著しく不良な場合や、欠席等が多い場合は減点対象とします。

時間	担当者	講義・実習項目
1	大淵	講義・演習 実習 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔内疾患
2	大淵	講義・演習 実習 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔内疾患
3	大淵	講義・演習 実習 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔内疾患
4	大淵	講義・演習 実習 高齢者の生活機能の評価
5	大淵	講義・演習 実習 高齢者の生活機能の評価
6	大淵	講義・演習 実習 高齢者歯科と臨床検査
7	大淵	講義・演習 実習 高齢者歯科と臨床検査
8	大淵	講義・演習 実習 高齢者歯科と臨床検査
9	大淵	講義・演習 実習 高齢者歯科と臨床検査
10	大淵	講義・演習 実習 高齢者の栄養状態

科目名 高齢者歯科学（演習）

時間	担当者	講義・実習項目
11	大淵	講義・演習 実習 高齢者の栄養状態
12	大淵	講義・演習 実習 高齢者の薬剤服用
13	大淵	講義・演習 実習 高齢者の薬剤服用
14	大淵	講義・演習 実習 口腔のケア
15	大淵	講義・演習 実習 口腔のケア



科目名	歯科予防処置Ⅱ		
担当講師	専任教員 吉田律子 石塚美波子 山口柳子		
授業時間	単位数	履修時期	
64 時間	2 単位	2 学年 前後期	
6 時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 第2版		
参考書			
一般目標 GIO	歯科衛生士法を基に口腔の予防処置に関する知識技術を習得する。		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内でプロービングができる</li> <li>・口腔内で各種スケーラーを使用してスケーリングができる</li> <li>・口腔内で歯面清掃器、研磨器を使用することができる</li> <li>・口腔内でPMT Cを実施することができる</li> <li>・フッ化物応用法を実施することができる</li> <li>・小窩裂溝填塞法を実施することができる</li> </ul>		
評価 EV	定期試験 100%		

時間	担当者		講義・実習項目
1	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習①
2	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習②
3	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習③
4	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習④
5	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習⑤
6	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	プロービング学生相互実習⑥
7	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	キュレットスケーラー学生相互実習①
8	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	キュレットスケーラー学生相互実習②
9	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	キュレットスケーラー学生相互実習③
10	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	キュレットスケーラー学生相互実習④

科目名 歯科予防処置Ⅱ

時間	担当者	講義・実習項目
11	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑤
12	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑥
13	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑦
14	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑧
15	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑨
16	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 キュレットスケーラー学生相互実習⑩
17	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習①
18	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習②
19	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習③
20	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習④
21	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習⑤
22	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習⑥
23	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習⑦
24	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 超音波スケーラー学生相互実習⑧
25	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 エアスケーラー学生相互実習①
26	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 エアスケーラー学生相互実習②
27	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 エアスケーラー学生相互実習③
28	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 エアスケーラー学生相互実習④
29	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面清掃学生相互実習①
30	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面清掃学生相互実習②

時間	担当者	講義・実習項目
31	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面清掃学生相互実習③
32	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面清掃学生相互実習④
33	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面研磨学生相互実習①
34	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面研磨学生相互実習②
35	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面研磨学生相互実習③
36	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 歯面研磨学生相互実習④
37	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習①
38	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習②
39	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習③
40	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習④
41	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習⑤
42	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 PMT C 学生相互実習⑥
43	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 シャープニング実習（講義を含む）①
44	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習 シャープニング実習（講義を含む）②
45	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 フッ化物局所塗布学生相互実習①
46	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 フッ化物局所塗布学生相互実習②
47	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 フッ化物局所塗布学生相互実習③
48	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 フッ化物局所塗布学生相互実習④
49	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 小窩裂溝填塞法学生相互実習①
50	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 小窩裂溝填塞法学生相互実習②

科目名      歯科予防処置Ⅱ

時間	担当者		講義・実習項目
51	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	小窩裂溝填塞法学生相互実習③
52	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	小窩裂溝填塞法学生相互実習④
53	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	フッ化物洗口学生相互実習①
54	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	フッ化物洗口学生相互実習②
55	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	齲蝕活動性試験実習
56	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	植立模型作成①
57	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	植立模型作成②
58	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習	植立模型作成③
59	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ①
60	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ②
61	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ③
62	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ④
63	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ⑤
64	石塚 吉田 山口	講義・演習 実習	学生相互実習総まとめ⑥

科目名	口腔保健管理		
担当講師	専任教員 菅原 由紀子		
授業時間	単位数	履修時期	
4 5 時間	3 単位	2 学年 前後期	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論		
参考書			
一般目標 GIO	生涯を通じた継続的な口腔保健管理をライフステージ別に実践できる能力を習得する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔保健管理の意義を理解して説明できる。</li> <li>・ライフステージ別に保健行動を述べるができる。</li> <li>・歯科衛生過程を理解し、各構成要素の目的を説明できる。</li> <li>・歯科衛生過程における書面化（業務記録）の意義を説明できる。</li> </ul>		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	菅原	講義・演習 実習 口腔保健の意義① 日常生活と口腔保健
2	菅原	講義・演習 実習 口腔保健の意義② 食生活と口腔保健
3	菅原	講義・演習 実習 口腔保健の意義③ 歯科保健行動・歯科健康教育
4	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法① 疾病発生の予防
5	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法② う蝕予防の臨床
6	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法③ う蝕のリスク評価
7	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法④ 歯周疾患予防の臨床
8	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法⑤ フッ化物応用
9	菅原	講義・演習 実習 対象把握と予防管理法⑥ 病勢阻止のための継続管理
10	菅原	講義・演習 実習 ライフステージごとの口腔保健管理①
11	菅原	講義・演習 実習 ライフステージごとの口腔保健管理②
12	菅原	講義・演習 実習 ライフステージごとの口腔保健管理③
13	菅原	講義・演習 実習 ライフステージごとの口腔保健管理④
14	菅原	講義・演習 実習 ライフステージごとの口腔保健管理⑤
15	菅原	講義・演習 実習 特別な配慮が必要な人の口腔保健管理

時間	担当者	講義・実習項目
16	菅原	講義・演習 実習 口腔保健管理の場の理解（施設、居宅訪問指導等）
17	菅原	講義・演習 実習 口腔観察と記録①
18	菅原	講義・演習 実習 口腔観察と記録②
19	菅原	講義・演習 実習 ホームケアとプロフェッショナルケア①
20	菅原	講義・演習 実習 ホームケアとプロフェッショナルケア②
21	菅原	講義・演習 実習 業務記録①
22	菅原	講義・演習 実習 業務記録②
23	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生過程の概要①
24	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生過程の概要②
25	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 情報収集
26	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 情報の分類・整理
27	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 情報の解釈・分析
28	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 演習①
29	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 演習②
30	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生アセスメント 演習③
31	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生診断
32	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生診断 演習①情報の統合
33	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生診断 演習②歯科診断文の作成
34	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生計画
35	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生計画 演習①目標設定
36	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生計画 演習②計画立案
37	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生介入
38	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生介入
39	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生介入 実施記録・SOAP
40	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生評価
41	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生評価
42	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生評価 演習
43	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生過程のまとめ①
44	菅原	講義・演習 実習 歯科衛生過程のまとめ②
45	菅原	講義・演習 実習 テスト対策

<b>科目名</b>	<b>歯科保健指導Ⅱ</b>	
<b>担当講師</b>	専任教員 金山 奈穂美・山口 柳子	
<b>授業時間</b>	<b>単位数</b>	<b>履修時期</b>
9 3 時間	5 単位	2 学年 前後 期
<b>教科書</b>	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 学建書院 改訂 歯ブラシ事典 学建書院 オーラルヘルスケア事典 学校歯科保健参考資料文部科学省 「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり クインテッセンス出版 別冊歯科衛生士 プラークコントロールのためのホームケア指導	
<b>参考書</b>	医歯薬出版 保健生態学、高齢者歯科学、障害者歯科学、心理学 学建書院 でんたるこみゆにけーしょん	
<b>一般目標 GIO</b>	◎自己の口腔内を健康に保つための知識や技術を修得する。 ◎ライフステージや口腔状態に合わせた歯科保健指導を行うための基本的な知識や技術、態度を修得する。	
<b>行動目標 SBOs</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯、口腔を観察し、記録がとれる。</li> <li>・自身の口腔状態に合う口腔清掃用具を選択し、ブラッシングができる。</li> <li>・対象者に合う口腔清掃用具を選択し、ブラッシング指導ができる。</li> <li>・食生活と歯科保健の関係性を知る。</li> <li>・ライフステージや口腔状態に合わせた歯科保健指導の要点を知る。</li> <li>・行動変容に関する理論を知る。</li> <li>・健康教育の定義を述べる。</li> <li>・問診、医療面接の違いを知る。</li> <li>・個別指導と集団指導の違いを知る。</li> <li>・媒体の種類や用途、作製方法を知り、指導媒体を作製できる。</li> </ul>	
<b>評価 EV</b>	定期試験 100%	

担当講師より：歯科保健指導は他の科目と関連の深い教科です。  
 これまで学習したことを振り返りながら楽しく学びましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	金山	講義・演習 実習 合同実習の概要
2	金山	講義・演習 実習 ”
3	金山	講義・演習 実習 問診・医療面接
4	金山	講義・演習 実習 ”
5	金山	講義・演習 実習 義歯の取り扱い
6	金山	講義・演習 実習 ”
7	金山	講義・演習 実習 ライフステージに応じた指導

時間	担当者	講義・実習項目	
8	金山	講義・演習 実習	ライフステージに応じた指導
9	金山	講義・演習 実習	〃
10	金山	講義・演習 実習	〃
11	金山	講義・演習 実習	〃
12	金山	講義・演習 実習	〃
13	金山	講義・演習 実習	〃
14	金山	講義・演習 実習	〃
15	金山	講義・演習 実習	〃
16	金山	講義・演習 実習	〃
17	金山	講義・演習 実習	〃
18	金山	講義・演習 実習	禁煙指導
19	金山	講義・演習 実習	〃
20	金山	講義・演習 実習	〃
21	金山	講義・演習 実習	〃
22	金山	講義・演習 実習	臨床実習の概要
23	金山	講義・演習 実習	〃
24	金山	講義・演習 実習	行動変容
25	金山	講義・演習 実習	〃
26	金山	講義・演習 実習	〃
27	金山	講義・演習 実習	〃
28	金山	講義・演習 実習	口腔機能の評価
29	金山	講義・演習 実習	〃
30	金山	講義・演習 実習	口腔機能管理に関わる指導



時間	担当者	講義・演習 実習	講義・実習項目
31	金山	講義・演習 実習	口腔機能管理に関わる指導
32	金山	講義・演習 実習	生活習慣の指導
33	金山	講義・演習 実習	”
34	金山	講義・演習 実習	認知機能の把握
35	金山	講義・演習 実習	”
36	金山	講義・演習 実習	健康教育の概要
37	金山	講義・演習 実習	”
38	金山	講義・演習 実習	”
39	金山	講義・演習 実習	地域歯科保健活動
40	金山	講義・演習 実習	”
41	金山	講義・演習 実習	媒体の概要
42	金山	講義・演習 実習	”
43	金山 山口	講義・演習 実習	集団指導用媒体作製
44	金山 山口	講義・演習 実習	”
45	金山 山口	講義・演習 実習	”
46	金山 山口	講義・演習 実習	”
47	金山 山口	講義・演習 実習	”
48	金山 山口	講義・演習 実習	”
49	金山 山口	講義・演習 実習	”
50	金山 山口	講義・演習 実習	”
51	金山 山口	講義・演習 実習	”
52	金山 山口	講義・演習 実習	”
53	金山 山口	講義・演習 実習	”
54	金山 山口	講義・演習 実習	”

科目名 歯科保健指導Ⅱ

時間	担当者	講義・実習項目	
55	金山 山口	講義・演習 実習	集団指導用媒体作製
56	金山 山口	講義・演習 実習	〃
57	金山 山口	講義・演習 実習	〃
58	金山 山口	講義・演習 実習	〃
59	金山 山口	講義・演習 実習	〃
60	金山 山口	講義・演習 実習	〃
61	金山 山口	講義・演習 実習	〃
62	金山 山口	講義・演習 実習	〃
63	金山	講義・演習 実習	個人指導用媒体作製

科目名 歯科保健指導Ⅱ

時間	担当者	講義・実習項目	
1	金山 山口	講義・演習 実習	合同実習予備実習
2	金山 山口	講義・演習 実習	〃
3	金山 山口	講義・演習 実習	〃
4	金山 山口	講義・演習 実習	口腔粘膜ケア実習
5	金山 山口	講義・演習 実習	〃
6	金山 山口	講義・演習 実習	相互実習
7	金山 山口	講義・演習 実習	〃
8	金山 山口	講義・演習 実習	〃
9	金山 山口	講義・演習 実習	〃
10	金山 山口	講義・演習 実習	〃
11	金山 山口	講義・演習 実習	〃
12	金山 山口	講義・演習 実習	〃

時間	担当者	講義・実習項目	
13	金 山 山 口	講義・演習 実習	術者磨き
14	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
15	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
16	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
17	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
18	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
19	金 山 山 口	講義・演習 実習	相互実習
20	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
21	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
22	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
23	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
24	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
25	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
26	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
27	金 山 山 口	講義・演習 実習	口腔清掃法・補助清掃用具検討実習
28	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
29	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃
30	金 山 山 口	講義・演習 実習	〃

科目名	栄養指導Ⅱ		
担当講師	和田 務	平川 ひとみ	
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	2学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝
参考書	
一般目標 GIO	口腔内における目に見えない現象を理解する。
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯周組織を説明できる。</li> <li>・ 硬組織、特に石灰化について説明できる。</li> <li>・ 唾液の組成と機能について説明できる。</li> <li>・ プラークによる組織への影響を説明できる。</li> </ul>
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目	
1	和田	講義・演習 実習	総論
2	和田	講義・演習 実習	歯と歯周組織 ①
3	和田	講義・演習 実習	歯と歯周組織 ②
4	和田	講義・演習 実習	硬組織 ①
5	和田	講義・演習 実習	硬組織 ②
6	和田	講義・演習 実習	硬組織 ③
7	和田	講義・演習 実習	唾液
8	和田	講義・演習 実習	プラーク ①
9	和田	講義・演習 実習	プラーク ②
10	和田	講義・演習 実習	う蝕 ①

時間	担当者	講義・実習項目	
11	和田	講義・演習 実習	う蝕②
12	和田	講義・演習 実習	う蝕③
13	和田	講義・演習 実習	歯周病①
14	和田	講義・演習 実習	歯周病②
15	和田	講義・演習 実習	復習

教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝 東京法令出版 2022新食品成分表 FOODS		
参考書			
一般目標 GIO	歯科における栄養指導に必要な知識を習得する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の体内での働きを記述できる。</li> <li>・生活習慣病と栄養素の関係が記述できる。</li> <li>・ライフステージ別の栄養と調理について記述できる。</li> </ul>		
評価 EV	定期試験100%		
担当講師より：			
時間	担当者	講義・実習項目	
1	平川	講義・演習 実習	Ⅲ編 1章 栄養の基礎知識
2	平川	講義・演習 実習	Ⅲ編 2章 食事摂取基準
3	平川	講義・演習 実習	Ⅲ編 3章 栄養素の働き
4	平川	講義・演習 実習	Ⅳ編 1章 食生活と健康 ①国民の健康と栄養の現状
5	平川	講義・演習 実習	Ⅳ編 1章 食生活と健康 ②望ましい食生活（その1）
6	平川	講義・演習 実習	Ⅳ編 1章 食生活と健康 ②望ましい食生活（その2）
7	平川	講義・演習 実習	Ⅳ編 1章 食生活と健康 ②望ましい食生活（その3）

時間	担当者	講義・実習項目	
8	平川	講義・演習 実習	IV編 1章 食生活と健康 ②望ましい食生活 (その4)
9	平川	講義・演習 実習	IV編 1章 食生活と健康 ②望ましい食生活 (その5)
10	平川	講義・演習 実習	IV編 1章 食生活と健康 ③ライフステージ別の栄養と調理 (その1)
11	平川	講義・演習 実習	IV編 1章 食生活と健康 ③ライフステージ別の栄養と調理 (その2)
12	平川	講義・演習 実習	IV編 1章 食生活と健康 ③ライフステージ別の栄養と調理 (その3)
13	平川	講義・演習 実習	IV編 2章 食べ物と健康 ①食品の成分と分類
14	平川	講義・演習 実習	IV編 2章 食べ物と健康 ②食べ物の物性 (その1)
15	平川	講義・演習 実習	IV編 2章 食べ物と健康 ②食べ物の物性 (その2)

<b>科目名</b>	<b>歯科診療補助Ⅱ-1</b>		
<b>担当講師</b>	専任教員 菊地 広美・菅原 由紀子		
<b>授業時間</b>	<b>単位数</b>	<b>履修時期</b>	
<b>90 時間</b>	<b>4 単位</b>	<b>2 学年前後期</b>	
<b>時間</b>		国家試験対策補習講義	
<b>教科書</b>	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本	歯科診療補助(第2版) 歯科材料 歯科機器	
<b>参考書</b>	医歯薬出版 新人歯科衛生士・歯科助手 ポケットマニュアル 第2版		
<b>一般目標 GIO</b>	歯科医療の現場における共同動作が出来るように、各診療に沿った使用器材の知識・技術を習得する。		
<b>行動目標 SBOs</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科診療補助の意義と法的責任、共同動作の意義について理解する。</li> <li>・ 歯科診療器具を理解し、取り扱い方法を理解する。</li> <li>・ 歯科診療の治療内容に沿った歯科材料の取り扱い方法を理解する。</li> </ul>		
<b>評価 EV</b>	定期試験 100%		

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	菊地	講義・演習 実習
2		講義・演習 実習
3		講義・演習 実習
4		講義・演習 実習
5	菊地	講義・演習 実習
6		講義・演習 実習
7		講義・演習 実習
8		講義・演習 実習
9		講義・演習 実習
10		講義・演習 実習
11		講義・演習 実習
12		講義・演習 実習

総合歯科実習①

保存修復・歯内療法の術式とセッティング①

時間	担当者	講義・実習項目
13	菊地	講義・演習 実習
14		講義・演習 実習
15		講義・演習 実習
16		講義・演習 実習
17	菊地	講義・演習 実習
18		講義・演習 実習
19	菊地	講義・演習 実習
20		講義・演習 実習
21	菊地	講義・演習 実習
22		講義・演習 実習
23	菊地	講義・演習 実習
24		講義・演習 実習
25		講義・演習 実習
26		講義・演習 実習
27	菊地	講義・演習 実習
28		講義・演習 実習
29	菊地	講義・演習 実習
30		講義・演習 実習
31	菊地	講義・演習 実習
32		講義・演習 実習
33		講義・演習 実習
34		講義・演習 実習
35	菊地	講義・演習 実習
36		講義・演習 実習
37		講義・演習 実習
38		講義・演習 実習
39	菊地	講義・演習 実習
40		講義・演習 実習
41		講義・演習 実習
42		講義・演習 実習
43		講義・演習 実習



科目名 歯科診療補助Ⅱ-1

時間	担当者	講義・実習項目
44	菊地	講義・演習 実習 総合歯科実習②
45		講義・演習 実習
46		講義・演習 実習
47	菊地	講義・演習 実習 暫冠被覆冠②
48		講義・演習 実習
49		講義・演習 実習
50		講義・演習 実習
51		講義・演習 実習
52	菊地	講義・演習 実習 保存修復・歯内療法の術式とセッティング①
53		講義・演習 実習
54		講義・演習 実習
55		講義・演習 実習
56	菊地	講義・演習 実習 障害者歯科治療の術式とセッティング
57		講義・演習 実習
58		講義・演習 実習
59		講義・演習 実習
60	菊地	講義・演習 実習 高齢者治療のセッティング
61		講義・演習 実習
62		講義・演習 実習
63		講義・演習 実習
64		講義・演習 実習
65		講義・演習 実習
66		講義・演習 実習
67		講義・演習 実習
68	菊地	講義・演習 実習 総合歯科実習③
69		講義・演習 実習
70		講義・演習 実習
71		講義・演習 実習
72		講義・演習 実習
73		講義・演習 実習
74		講義・演習 実習

科目名 齒科診療補助Ⅱ-1

時間	担当者	講義・実習項目	
75	菊地	講義・演習 実習	総合歯科実習③
76		講義・演習 実習	
77		講義・演習 実習	
78		講義・演習 実習	
79		講義・演習 実習	
80		講義・演習 実習	
81		講義・演習 実習	
82		講義・演習 実習	
83		講義・演習 実習	
84		講義・演習 実習	
85		講義・演習 実習	
86		講義・演習 実習	
87		講義・演習 実習	
88		講義・演習 実習	
89	講義・演習 実習		
90	講義・演習 実習		

科目名	歯科放射線学		
担当講師	佐々木 健		
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	2 学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学		
参考書			
一般目標 GIO	臨床の場において歯科放射線に関する知識技術を習得する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床における歯科放射線の基礎知識を述べるができる</li> <li>臨床におけるX線の補助と基本的な読像ができる</li> </ul>		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	佐々木	講義・演習 実習 歯科放射線の基礎知識
2	佐々木	講義・演習 実習 X線の性質
3	佐々木	講義・演習 実習 歯科用X線装置とX線用フィルム
4	佐々木	講義・演習 実習 X線像の成立条件①
5	佐々木	講義・演習 実習 X線像の成立条件②
6	佐々木	講義・演習 実習 X線像の基本的な読像について
7	佐々木	講義・演習 実習 口内法（2等分法）における水平的角度について①
8	佐々木	講義・演習 実習 口内法（2等分法）における水平的角度について②
9	佐々木	講義・演習 実習 口内法（2等分法）における垂直的角度について①
10	佐々木	講義・演習 実習 口内法（2等分法）における垂直的角度について②

時間	担当者	講義・実習項目
11	佐々木	講義・演習 実習 X線演習
12	佐々木	講義・演習 実習 X線写真の分析・読像①
13	佐々木	講義・演習 実習 X線写真の分析・読像②
14	佐々木	講義・演習 実習 他の口内法と口外法について
15	佐々木	講義・演習 実習 テスト解説とまとめ、患者教育

科目名	歯科診療補助Ⅱ-2（臨床検査学）（感染予防学）	
担当講師	奈良 幸一（臨床検査学）	
	非常勤教員 山口 柳子（感染予防学）	
授業時間	単位数	履修時期
30時間	1単位	2学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 臨床検査	
参考書		
一般目標 GIO	・歯科衛生士として、歯科来院患者の比較的遭遇することの多い疾患とその検査法（検査項目）及び検査データの意義、基準値などを中心に基本的な知識を習得する。	
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査はなぜ必要かを理解する。</li> <li>・検査の準備と患者への説明ができる。</li> <li>・検体の依頼と取り扱い上の注意事項を理解する。</li> <li>・様々な疾患と臨床検査法の係り及び検査結果の読み方を理解する。</li> </ul>	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	奈良	講義・演習 実習 1章 臨床検査概要の説明
2	奈良	講義・演習 実習 検体の採取から依頼と検査値（基準値）の読み方と注意点
3	奈良	講義・演習 実習 検査業務の実際の現状をスライドで説明
4	奈良	講義・演習 実習 2章 生体検査 生理機能検査（体温・脈拍・血圧・その他）
5	奈良	講義・演習 実習 3章 検体検査 血液を用いる検査と採血法
6	奈良	講義・演習 実習 血液学的検査 貧血の検査・その他
7	奈良	講義・演習 実習 尿検査実習（タンパク・糖・ウロビリノーゲンの3項目を検査判定）
8	奈良	講義・演習 実習 尿検査
9	奈良	講義・演習 実習 出血性素因（外因性凝固・内因性凝固）の検査
10	奈良	講義・演習 実習 生化学検査 肝機能検査

時間	担当者	講義・実習項目	
11	奈良	講義・演習 実習	腎機能の検査
12	奈良	講義・演習 実習	糖代謝の検査
13	奈良	講義・演習 実習	免疫・血液検査
14	奈良	講義・演習 実習	感染症・自己免疫
15	奈良	講義・演習 実習	血液型検査
16	奈良	講義・演習 実習	感染症・細菌検査
17	奈良	講義・演習 実習	病理検査について
18	奈良	講義・演習 実習	病理検査の実際について
19	奈良	講義・演習 実習	心電図、モニター類の波形について
20	奈良	講義・演習 実習	4章 口腔領域の臨床検査

科目名 歯科診療補助Ⅱ－２（感染予防学）

<b>教科書</b>		
<b>参考書</b>		医歯薬出版 感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 財団法人口腔保健協会 歯科衛生士のヒヤリ・ハットの事例と対策
<b>一般目標 GIO</b>		感染予防対策に関する知識・技術を習得する
<b>行動目標 SBOs</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策の定義を述べることができる。</li> <li>・滅菌・消毒・洗浄について、それぞれの種類・方法の特徴を述べることができる。</li> </ul>
<b>評価 EV</b>		小テスト100%
担当講師より：受講態度も評価とする。		
<b>時間</b>	<b>担当者</b>	<b>講義・実習項目</b>
1	山口	講義・演習 実習 感染予防対策の基本
2	山口	講義・演習 実習 歯科診療における感染予防対策の実際
3	山口	講義・演習 実習 滅菌・消毒・洗浄の基本、実際
4	山口	講義・演習 実習 医療従事者の感染予防対策
5	山口	講義・演習 実習 廃棄物の処理
6	山口	講義・演習 実習 演習（手袋等着用の仕方・ラッピング）
7	山口	講義・演習 実習 医療安全管理
8	山口	講義・演習 実習 医療安全管理
9	山口	講義・演習 実習 ヒヤリ・ハットの事例と対策
10	山口	講義・演習 実習 小テスト

科目名	医療保険		
担当講師	太田 晃	工藤 充康	
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	2 学年 前期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	医歯薬出版 歯科保険請求マニュアル
参考書	
一般目標 GIO	保険診療に於ける用語の習得をする。
行動目標 SBOs	講義の中から教科書以外のポイントをノートに記載して臨床に備える。 診療のパターンを理解し実務に備える。
評価 EV	

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目	
1	太田	講義・演習 実習	保険診療とは、 1) 歯の知識
2	太田	講義・演習 実習	2) 初期う蝕の治療 3) 痛くなった歯の治療
3	太田	講義・演習 実習	4) 感染根幹治療 5) X線撮影
4	太田	講義・演習 実習	6) 麻酔
5	太田	講義・演習 実習	7) 歯周治療 8) 抜歯と手術
6	太田	講義・演習 実習	9) 歯冠修復と欠損補綴
7	太田	講義・演習 実習	10) 顎運動の基礎知識と保険関連検査
8	太田	講義・演習 実習	総括



教科書	医歯業出版 歯科保険請求マニュアル	
参考書		
一般目標 GIO	保険の基礎知識を身に付け、保健医療制度を理解する。	
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプトの基礎知識、医療保険の位置づけを理解する。</li> <li>・保険診療の内容や用いられる略称等を理解する。</li> <li>・レセプトの記載が正しくできるようにする。</li> </ul>	
評価 EV	定期試験	
担当講師より：		
時間	担当者	講義・実習項目
1	工藤	講義・演習 実習 レセプトと保険請求の仕組み
2	工藤	講義・演習 実習 請求明細書の書き方①
3	工藤	講義・演習 実習 請求明細書の書き方②
4	工藤	講義・演習 実習 請求明細書の書き方③
5	工藤	講義・演習 実習 請求明細書の書き方④
6	工藤	講義・演習 実習 歯科レセプトの作製と点検①
7	工藤	講義・演習 実習 歯科レセプトの作製と点検②

科目名	臨床基礎実習		
担当講師	奈良 宏周		
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	2 学年前期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	これまでに使用した教科書すべて		
参考書	歯科受診の常識 歯科に行く前に読む本 近代口腔科学研究会 雑誌48巻1号別冊 歯科衛生士考		
一般目標 GIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習が始まる前に必要な知識を総まとめする。</li> <li>基礎系と臨床系の講義の架け橋となるような講義を行う。</li> <li>歯科医療とは何か、歯科医師・歯科衛生士とは何かを考える。</li> </ul>		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科医療とは何か、理解できる。</li> <li>歯科医師・歯科衛生士とは何か、理解できる。</li> <li>基礎系の講義内容が臨床にどのように活用されるか理解できる。</li> <li>臨床実習でなにを学ぶか、そのために何が必要か理解できる。</li> </ul>		
評価 EV	定期試験素点 約90%、出席点および態度点 約10%		

**担当講師より：**

出席点も加味しますので休まず講義に出席してください。  
1年生の時に分からなかった内容をそのままにせず、この講義内で解決できるように努力してください。

時間	担当者	講義・実習項目
1	奈良	講義・演習 実習 講義内容の概論
2	奈良	講義・演習 実習 歯科医師・歯科衛生士とは何か
3	奈良	講義・演習 実習 なぜ基礎系の講義を学ぶか、臨床系の勉強の仕方
4	奈良	講義・演習 実習 基礎と臨床の架け橋（～縦の棒から横の棒へ～）
5	奈良	講義・演習 実習 臨床実習で何を学ぶか
6	奈良	講義・演習 実習 講義 → 臨床実習 → 国家試験 → 「社会人」へ
7	奈良	講義・演習 実習 臨床実習から国家試験対策
8	奈良	講義・演習 実習 臨床の場に出るということについて
9	奈良	講義・演習 実習 「むし歯」についての基礎（解剖、組織、病理など）
10	奈良	講義・演習 実習 「むし歯」の治療について（治療から歯冠修復まで）

科目名 臨床基礎実習

時間	担当者	講義・実習項目
11	奈良	講義・演習 実習 「歯周病」についての基礎（組織、微生物、病理、薬理など）
12	奈良	講義・演習 実習 「歯周病」の治療について（治療の総論、各論）
13	奈良	講義・演習 実習 「歯内療法」の総論（基本的事項）
14	奈良	講義・演習 実習 「歯内療法」の各論
15	奈良	講義・演習 実習 「Oral Medicine」の基礎（解剖、組織、病理、薬理など）
16	奈良	講義・演習 実習 「Oral Medicine」の臨床
17	奈良	講義・演習 実習 「Oral Surgery」の基礎（解剖、組織、病理など）
18	奈良	講義・演習 実習 「Oral Surgery」の臨床
19	奈良	講義・演習 実習 「歯冠修復、欠損補綴」総論
20	奈良	講義・演習 実習 「歯冠修復、欠損補綴」各論
21	奈良	講義・演習 実習 「歯列矯正」について
22	奈良	講義・演習 実習 「小児歯科」について
23	奈良	講義・演習 実習 「予防歯科学」について
24	奈良	講義・演習 実習 保健指導・予防処置と歯科衛生士
25	奈良	講義・演習 実習 「摂食・嚥下」の解剖・生理学
26	奈良	講義・演習 実習 「摂食・嚥下」と歯科衛生士
27	奈良	講義・演習 実習 まとめ講義、質問受け付け ①
28	奈良	講義・演習 実習 まとめ講義、質問受け付け ②
29	奈良	講義・演習 実習 まとめ講義、質問受け付け ③
30	奈良	講義・演習 実習 まとめ講義、質問受け付け ④

科目名	医療事務・情報処理		
担当講師	シグマソリューションズ		
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	2 学年後期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	プリント		
参考書	医歯薬出版 令和4年版歯科保険請求マニュアル		
一般目標 GIO	コンピュータの基礎知識をはじめ、医療事務システム（カルテ・レセプト）の操作を習得し、その果たす役割や医療現場の実際を理解する。		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの基礎知識を理解する。</li> <li>・カルテ/レセプトシステムの基本的な操作ができる。</li> <li>・カルテ/レセプトシステムの位置づけを理解する。</li> </ul>		
評価 EV			

担当講師より：

時間	担当者	講義・実習項目
1	シグマ	講義・演習 実習 院内業務の流れとカルテ・レセプトシステムのかかわり①
2	シグマ	講義・演習 実習 歯科保険請求概要①
3	シグマ	講義・演習 実習 患者登録と医療保険①
4	シグマ	講義・演習 実習 患者登録と医療保険②
5	シグマ	講義・演習 実習 コンピュータに関する基礎知識
6	シグマ	講義・演習 実習 治療入力①
7	シグマ	講義・演習 実習 歯科保険請求概要②
8	シグマ	講義・演習 実習 会計業務/窓口帳票
9	シグマ	講義・演習 実習 患者登録と医療保険③
10	シグマ	講義・演習 実習 治療入力②

時間	担当者	講義・実習項目
11	シグマ	講義・演習 実習 「Microsoft Office Word」について
12	シグマ	講義・演習 実習 治療入力③
13	シグマ	講義・演習 実習 ユニットサイドでの歯周検査入力①
14	シグマ	講義・演習 実習 ユニットサイドでの歯周検査入力②
15	シグマ	講義・演習 実習 「Microsoft Office Powerpoint」について
16	シグマ	講義・演習 実習 患者登録と医療保険④
17	シグマ	講義・演習 実習 「Microsoft Office Excel」について
18	シグマ	講義・演習 実習 院内業務の流れとカルテ・レセプトシステムのかかわり②
19	シグマ	講義・演習 実習 歯科保険請求概要③
20	シグマ	講義・演習 実習 レセプト業務①
21	シグマ	講義・演習 実習 レセプト業務②
22	シグマ	講義・演習 実習 治療入力④
23	シグマ	講義・演習 実習 治療入力⑤
24	シグマ	講義・演習 実習 治療入力⑥
25	シグマ	講義・演習 実習 医科・調剤・介護の現況
26	シグマ	講義・演習 実習 院内業務の流れとカルテ・レセプトシステムのかかわり③
27	シグマ	講義・演習 実習 入力
28	シグマ	講義・演習 実習 薬価・診療報酬改定について
29	シグマ	講義・演習 実習 まとめ演習
30	シグマ	講義・演習 実習 テスト・総括

科目名	隣接医学		
担当講師	菊地 雄大	今井 克幸	
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	2 学年後期	
時間		国家試験対策補習講義	

教科書	赤十字救急法基礎講習教本・講習教本
参考書	
一般目標 GIO	事故を防止し、緊急時に必要な手当ができるように救急法の正しい知識と技術を習得する。
行動目標 SBOs	心停止の傷病者に必要な救命手当を実施することができる。急病の種類や対処の方法を述べるすることができる。けがに対する正しい応急手当を実施することができる。
評価 EV	学科・実技検定

担当講師より：原則として欠席は許可しません。

検定合格者には単位取得の他、日本赤十字社が認定する救急法救急員の資格を付与します。

時間	担当者	講義・実習項目	
1	菊地	講義・演習 実習	赤十字救急法について
2	菊地	講義・演習 実習	手当の基本
3	菊地	講義・演習 実習	傷病者への接し方、現場での留意点
4	菊地	講義・演習 実習	一次救命処置について
5	菊地	講義・演習 実習	心肺蘇生とは
6	菊地	講義・演習 実習	AEDを用いた除細動
7	菊地	講義・演習 実習	気道異物除去
8	菊地	講義・演習 実習	赤十字救急法救急員について
9	菊地	講義・演習 実習	急病
10	菊地	講義・演習 実習	けがに対する応急手当の必要性

時間	担当者	講義・実習項目	
11	菊地	講義・演習 実習	きず
12	菊地	講義・演習 実習	骨折
13	菊地	講義・演習 実習	各部のけが
14	菊地	講義・演習 実習	特殊なけが
15	菊地	講義・演習 実習	止血
16	菊地	講義・演習 実習	包帯
17	菊地	講義・演習 実習	固定
18	菊地	講義・演習 実習	各部の骨折の手当
19	菊地	講義・演習 実習	搬送の必要性
20	菊地	講義・演習 実習	搬送方法
21	菊地	講義・演習 実習	救護
22	菊地	講義・演習 実習	検定

教科書	医歯薬出版 デンタルハイジーン別冊 歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック		
参考書			
一般目標 GIO	隣接医学領域の疾病に関する医学知識を修得する。		
行動目標 SBOs	歯科衛生士として活動する際に必要な内科的疾患に関する。医学的知識を説明出来る。		
評価 EV	試験によって評価する。		
担当講師より：	近年、歯科医療と内科疾患の関連性、とくにいわゆる「生活習慣病」と歯科医療の関連が重視されています。ここを講義します。”目からウロコ”を感じる講義をします。		
時間	担当者	講義・実習項目	
1	今井	講義・演習 実習	隣接医学総論：主要な死因、癌、心疾患、脳血管障害、肺炎
2	今井	講義・演習 実習	血液検査値、血糖値、コレステロール
3	今井	講義・演習 実習	メタボリックシンドローム、肥満、(死の四重奏)LDL
4	今井	講義・演習 実習	動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞
5	今井	講義・演習 実習	糖尿病と歯周疾患、血管障害、三大合併症
6	今井	講義・演習 実習	骨粗鬆症、コラーゲン
7	今井	講義・演習 実習	肝硬変、肝癌
8	今井	講義・演習 実習	人工栄養法、誤嚥性肺炎



科目名	看護概論	
担当講師	佐藤 美香子・川村 孝子・甫仮 貴子	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	2 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義

教科書	歯科衛生士のための看護学大意 第4版
参考書	
一般目標 GIO	歯の健康保持・増進および歯の健康問題解決には看護との共同が必要であり、共同業務を円滑に行うために「看護とは何か」を理解する。
行動目標 SBOs	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の定義や概念を説明できる。</li> <li>2. 歯科衛生士に必要な看護技術の目的・方法・留意点等を列挙できる。</li> <li>3. 院内感染防止・安全な医療の提供を理解する。</li> <li>4. 外来や入院における歯科衛生士の役割について述べる事ができる。</li> </ol>
評価 EV	筆記試験 70%、学習態度および出席状況 30%

担当講師より：高齢社会の今日、歯や口腔の疾患以外に内科的疾患をもつ者や診療に際して特別なケアを必要とする者の割合が増加している。そうした人々に歯科衛生士としてどのように関わるべきか、考えながら講義に臨んでほしい。

時間	担当者	講義・実習項目
1	佐藤	講義・演習 実習 看護の概念(看護の歴史・看護とは)
2	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 (バイタルサイン①)
3	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 (バイタルサイン②、測定方法・手順・実技)
4	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 (患者への支援)
5	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 (患者の安全・安楽・摂食)
6	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 (摂食・その他の看護技術)
7	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護実務 (記録・外来での業務・入院を要する患者の看護)
8	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士が知っておくべき看護実務 (入院を要する患者の看護・口腔ケア)
9	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士に必要な看護実務 (救急時の看護・洗浄・消毒・滅菌)
10	佐藤	講義・演習 実習 歯科衛生士に必要な看護実務 (感染対策…実技・医療安全対策)

教科書	歯科衛生士のための 看護学大意		
参考書			
一般目標 GIO	病院および地域医療活動における歯科衛生士の役割を理解する		
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院と診療所の性質の違いを述べるができる</li> <li>・ 病院内医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を説明できる</li> <li>・ 高齢者に対する現行制度とサービス体系について述べるができる</li> <li>・ 訪問口腔衛生指導時の心構えとその内容について述べるができる</li> <li>・ 地域医療活動における関係機関との連携の必要性を述べるができる</li> </ul>		
評価 EV	定期試験 100%		
担当講師より： 本テキストの1・5章を担当します			
時間	担当者	講義・実習項目	
1	甫仮	講義・演習 実習	病院における歯科衛生士の役割
2	甫仮		
3	川村	講義・演習 実習	地域医療活動における歯科衛生士の役割
4	川村		
5	川村		

科目名	コミュニケーション論(カウンセリング技法含む)		
担当講師	清水 由美子		
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	2 学年 後期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	でんたるこみゆにけーしょん		
参考書			
一般目標 GIO	コミュニケーションの知識と技法を習得し応用できるようにする		
行動目標 SBOs	コミュニケーションの技法と原則を確認 傾聴、面接時の洞察、共感の技法、言葉や身振りの理解 問題確認の技法知り他者の理解、自己の理解を深める		
評価 EV	定期試験 出席状況		

担当講師より： 受講態度、出席状況も評価する

時間	担当者	講義・実習項目
1	清水	講義・演習 実習 コミュニケーションとは
2	清水	講義・演習 実習 自己紹介 他者紹介 伝達トレーニング
3	清水	講義・演習 実習 医師、歯科医師と患者の関係 倫理 歴史について
4	清水	講義・演習 実習 指導、コンサルテーション、カウンセリングの共通点 相違点
5	清水	講義・演習 実習 医療面接の 意義 役割 面接の準備等について
6	清水	講義・演習 実習 傾聴とは 基本的質問法とは
7	清水	講義・演習 実習 医療面接における医師の好ましい態度
8	清水	講義・演習 実習 医療面接を妨げる因子 医療面接の流れ
9	清水	講義・演習 実習 共感、感情とは何か
10	清水	講義・演習 実習 歯科医療従事者の自己マネジメントについて
11	清水	講義・演習 実習 コミュニケーション技法 言葉の効果、どう話すかに気を配る
12	清水	講義・演習 実習 質問のテクニック
13	清水	講義・演習 実習 医療面接技法 コミュニケーション・トレーニング 質問技法を用いて
14	清水	講義・演習 実習 医療面接技法 ロールプレイング・ワールドカフェ
15	清水	講義・演習 実習 医療面接技法 ロールプレイング・ワールドカフェ

<b>科目名</b>	<b>接遇(受付業務・マナー)</b>	
<b>担当講師</b>	星章夫・久野隆・富永美樹	
<b>授業時間</b>	<b>単位数</b>	<b>履修時期</b>
15 時間	1 単位	2 学年 前後期
<b>時間</b>		国家試験対策補習講義
<b>教科書</b>		
<b>参考書</b>		
<b>一般目標</b> GIO	顧客（患者様）満足度を得るためのコミュニケーションスキルを学ぶ	
<b>行動目標</b> SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としての基本マナー</li> <li>・ 顧客との信頼関係を築くためのマナー</li> </ul>	
<b>評価</b> EV		

担当講師より：より豊かな社会生活を送る為にも接遇の基本を学びましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（先読みの重要性）
2	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（トリプルK）
3	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（長所と短所の使い方）
4	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（6つの者）
5	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（代表・顔・印象）
6	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（不快感と不安感）
7	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（好感度と高感度）
8	星	講義・演習 実習 接遇の基本マナー（振り返り）

教科書	
参考書	
一般目標 GIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者さんとのコミュニケーションがクレームを減らす事を理解する。</li> <li>クレームの初期対応で一番大切なものは何かを学ぶ。</li> </ul>
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者さんに安心感を与え、信頼感をもってもらうプロセスを身につける。</li> <li>患者さんの立場に立った対応、言葉遣いを身につける。</li> </ul>
評価 EV	

担当講師より：社会人としてのマナーを一緒に学んでいきましょう。

時間	担当者	講義・実習項目	
1	久野	講義・演習 実習	患者さんとのコミュニケーション
2	久野	講義・演習 実習	クレームの初期対応について

教科書	プリントを準備します。
参考書	
一般目標 GIO	歯科医療における接遇とは何かを理解し、実践に役立つ言葉使い・身だしなみを習得する。
行動目標 SBOs	<ol style="list-style-type: none"> <li>患者接遇の基本マナーを理解する。</li> <li>自分の長所・改善点を知ること、自分を客観的にみることができる。</li> <li>受付業務での言葉づかい（敬語）表現を身につける。</li> <li>電話対応のスキルを身につける。（予約変更・キャンセルの受け方）</li> <li>適切な身だしなみを知り、自身で整えることができる。</li> </ol>
評価 EV	

担当講師より：普段から、接遇とはなにか？を考えることは少ないかもしれませんが。しかし実際は、社会生活の中で身近に触れていることでもあります。自分が医療機関等に、受診した際にうけた心地よい対応・サービス等を書き留めたり意識することで、自分の行動（言葉や態度）に自然と反映される部分があると思います。皆さんが持っている「思いやりの心」をベースにしたプラスαの接遇を、一緒に考えていきましょう。

時間	担当者	講義・実習項目	
1	富永	講義・演習 実習	「おもてなしの心」について。身だしなみ、表情について。
2	富永	講義・演習 実習	電話対応基本スキル（受付業務）
3	富永	講義・演習 実習	* 患者接遇マナーの基本について
4	富永	講義・演習 実習	演習：スピーチを通して自分自身を振り返る
5	富永	講義・演習 実習	演習：スピーチを通して自分自身を振り返る・まとめ

科目名	卒業研究 I	
担当講師	細川 卓朗	
授業時間	単位数	履修時期
15 時間	1 単位	2 学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書		
参考書		
一般目標 GIO	歯科衛生士として調べる、考える、工夫する力を習得する。	
行動目標 SBOs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文のテーマを選択、決定できる。</li> <li>・論文作成に必要なデータを収集できる。</li> <li>・データを分析できる。</li> <li>・データを基に論文を作成できる。</li> <li>・作成した論文について発表、討論できる。</li> </ul>	
評価 EV	出席率 50%	論文提出、発表 50%

**担当講師より：**

論文作成を通して物事の考え方、調べる能力を培って欲しい。論文で得た知識をこれからの臨床に生かして欲しい。

時間	担当者	講義・実習項目
1	細川	講義・演習 実習 ガイダンス
2	細川	講義・演習 実習 今後の予定
3	細川	講義・演習 実習 グループ分け
4	細川	講義・演習 実習 テーマの選択
5	細川	講義・演習 実習 総論として論文の内容について
6	細川	講義・演習 実習 グループ毎にテーマの決定
7	細川	講義・演習 実習 グループ毎に実際の研究計画について
8	細川	講義・演習 実習 データの収集について
9	細川	講義・演習 実習 参考資料の準備、検討について
10	細川	講義・演習 実習 各論として構成について

時間	担当者	講義・実習項目	
11	細川	講義・演習 実習	各論として研究の進め方について
12	細川	講義・演習 実習	研究の予備調査
13	細川	講義・演習 実習	データの分析、検討、資料集め
14	細川	講義・演習 実習	論文発表、評価、検討
15	細川	講義・演習 実習	グループ毎に検討、データ収集



こころとからだのしくみと生活支援技術

教科名・担当講師	時間数	目的	内容
こころとからだのしくみと生活支援技術 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 半田温子	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	○学習と記憶の基礎知識 ○感情と意欲の基礎知識 ○自己概念と生きがい ○老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ○こころの持ち方が行動に与える影響 ○からだの状態がこころに与える影響
こころとからだのしくみと生活支援技術 快適な住環境と介護 鎌田菜月	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	(1) 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点・支援方法 ○家庭内に多い事故 ○バリアフリー ○住宅改修 ○福祉用具貸与
こころとからだのしくみと生活支援技術 介護の基本的な考え方 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	○理論に基づく介護(ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除) ○法的根拠に基づく介護
こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1) 整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ○身支度 ○整容行動 ○洗面の意義・効果 (視聴覚教材の活用)
こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1) 整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ○身支度 ○整容行動 ○洗面の意義・効果 (視聴覚教材の活用)
こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1) 移動・移乗に関する基礎知識、様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者や介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援 ○利用者や介護者の双方が安全で安楽な方法 ○利用者の自然な動きの活用 ○残存能力の活用・自立支援 ○重心・重力の働きの理解 ○ボディメカニクスの基本原理 ○移乗介助の具体的な方法(車椅子への移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車椅子間の移乗、全面介助での車椅子・洋式・イレ間の移乗) ○移動介助(車椅子・歩行器・杖等) ○褥瘡予防(視聴覚教材の活用)
こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1) 移動・移乗に関する基礎知識、様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者や介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援 ○利用者や介護者の双方が安全で安楽な方法 ○利用者の自然な動きの活用 ○残存能力の活用・自立支援 ○重心・重力の働きの理解 ○ボディメカニクスの基本原理 ○移乗介助の具体的な方法(車椅子への移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車椅子間の移乗、全面介助での車椅子・洋式・イレ間の移乗) ○移動介助(車椅子・歩行器・杖等) ○褥瘡予防(視聴覚教材の活用)
こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 日赤秋田県支部	3時間	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1) 移動・移乗に関する基礎知識、様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者や介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援 ○利用者や介護者の双方が安全で安楽な方法 ○利用者の自然な動きの活用 ○残存能力の活用・自立支援 ○重心・重力の働きの理解 ○ボディメカニクスの基本原理 ○移乗介助の具体的な方法(車椅子への移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車椅子間の移乗、全面介助での車椅子・洋式・イレ間の移乗) ○移動介助(車椅子・歩行器・杖等) ○褥瘡予防(視聴覚教材の活用)

<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>日赤秋田県支部</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(1) 食事に関する基礎的知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <p>○食事をする意味      ○好み      ○空腹感・満足感 ○低栄養の弊害      ○脱水の弊害      ○食事と姿勢 ○食事のケアに対する介護者の意識      ○咀嚼・嚥下のメカニズム ○食事の環境整備(時間・場所等) ○食事に関する福祉用具の活用と介助方法 ○口腔ケアの定義      ○誤嚥性肺炎の予防 (視聴覚教材の活用)</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 生活と家事</p> <p>菅原博子</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>(1) 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援</p> <p>○生活歴      ○価値観      ○多様な生活習慣 ○自立支援      ○予防的な対応      ○主体性・能動性を引き出す</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>日赤秋田県支部</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(1) 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、様々な入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>○羞恥心や遠慮への配慮      ○体調の確認 ○目・鼻腔・耳・爪の清潔方法      ○陰部清浄(臥床状態での方法) ○足浴・手浴・洗髪 ○全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方) (視聴覚教材の活用)</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p> <p>吉川究</p>	2時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ○自律神経と内部器官に関する基礎知識 ○こころとからだを一体的に捉える ○利用者の様子の普段との違いに気付く視点</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 生活と家事</p> <p>菅原博子</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>(1) 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援</p> <p>○生活歴      ○価値観      ○多様な生活習慣 ○自立支援      ○予防的な対応      ○主体性・能動性を引き出す</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>日赤秋田県支部</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(1) 排泄に関する基礎知識、様々な排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>○排泄とは ○身体面(生理面)での意味      ○心理面での意味      ○社会的な意味 ○プライド・羞恥心      ○プライバシーの確保 ○おむつは最後の手段/おむつ使用の弊害 ○排泄障害が日常生活上に及ぼす影響 ○排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連 ○一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法 ○便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫/繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ) (視聴覚教材の活用)</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p> <p>吉川究</p>	2時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ○自律神経と内部器官に関する基礎知識 ○こころとからだを一体的に捉える ○利用者の様子の普段との違いに気付く視点</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>日赤秋田県支部</p>	3時間	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(1) 睡眠に関する基礎知識、様々な睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>○安眠のための介護の工夫      ○安楽な姿勢・褥瘡予防 ○環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室)</p>

<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>日赤秋田県支部</p>	<p>3時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 (1) 終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援</p> <p>○終末期ケアとは ○臨終が近づいたときの兆候と介護 ○介護従事者の基本的態度 ○多職種間の情報共有の必要性 ○高齢者の死に至る過程(高齢者の自然死(老衰)、癌死)</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p> <p>吉川究</p>	<p>2時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ○自律神経と内部器官に関する基礎知識 ○こころとからだを一体的に捉える ○利用者の様子の普段との違いに気付く視点</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習</p> <p>大滝和枝</p>	<p>4時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>&lt;生活支援技術演習&gt; 1. 介護過程の基礎的理解 ○介護過程の目的・意義・展開 ○介護過程とチームアプローチ</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習</p> <p>大滝和枝</p>	<p>2時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>&lt;生活支援技術演習&gt; 1. 介護過程の基礎的理解 ○介護過程の目的・意義・展開 ○介護過程とチームアプローチ</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習</p> <p>佐藤美香子</p>	<p>3時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>&lt;生活支援技術演習&gt; 2. 総合生活支援技術演習(事例による展開) (1)生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す ○事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 (1事例あたり1.5時間程度で上記サイクルを実施する)</p> <p>○事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施</p>
<p>こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習</p> <p>佐藤美香子</p>	<p>3時間</p>	<p>1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。</p>	<p>&lt;生活支援技術演習&gt; 2. 総合生活支援技術演習(事例による展開) (1)生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す ○事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 (1事例あたり1.5時間程度で上記サイクルを実施する)</p> <p>○事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施</p>

こころとからだのしくみと生活支援技術  
見学等実習(特養等施設見学等実習)

教科名及び時間数	目的	内容
こころとからだのしくみと生活支援技術 見学等実習 (特養等施設見学等実習) ・2日間 (1日8時間内:12時間以上) ・5施設32日を要する	・講義、実技講習の各内容を老人保健・福祉施設において実践することにより介護技術を中心とする援助能力を高める	・特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児施設、痴呆性老人グループホーム、現に介護サービスを提供している有料老人ホーム等における介護実習  財団医療法人運忠会 介護老人保健施設なぎさ 社会福祉法人松寿会 特別養護老人ホーム松清園 社会福祉法人晃和会 特別養護老人ホーム大平荘 大平荘ショートステイセンター 社会福祉法人横手福寿会 ショートステイ ラ・ボア・ラクテ

振り返り

教科名・担当講師	時間数	目的	内容
振り返り 清水由美子	4時間	・研修全体を振り返り、研修を通じて学んだ内容を再確認することにより、就業後も学習・研鑽を継続する姿勢が形成され、学習課題を認識することができている。	1. 振り返り ○研修を通して学んだこと ○今後継続して学ぶべきこと ○根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等) 2. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修姿勢 ○継続的に学ぶべきこと ○研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例(OFF-JT、OJT)を紹介

修了試験

教科名・担当講師	時間数	目的	内容
修了試験 清水由美子	1時間	・課程全体の知識習得度に関する修了評価	筆記試験

科目名	臨地・臨床実習 I	
実施施設	県内歯科医院 30施設 大学病院歯科口腔外科 社会福祉施設 4施設	
授業時間	単位数	履修時期
360時間	8単位	2学年 後期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	特になし	
参考書	特になし	
評価 EV	実習状況100%	

講義・実習項目	
1.実習期間	
(1) 県内歯科医院	臨床実習 I 10月～12月 臨床実習 II 3月
(2) 大学病院歯科口腔外科	12月～3月
(3) 社会福祉施設	10月～11月
2.実習の目的	
歯科衛生士の業務である歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の手技を習得し、歯科診療所(病院)における歯科衛生士の役割を理解する。 社会福祉施設の利用者に対して歯科保健指導を行うための知識と技術を身につける。	
3.内容及び項目<臨床実習 I～IVの期間にて>	
(1) 歯科予防処置	
①予防的歯石除去法(歯面研磨含む)	15名以上(90ケース以上) 内10名以上(60ケース)は歯石除去
②齲蝕予防処置法	15名以上
(2) 歯科保健指導	20名以上(内小児8名以上)
小児: 15歳以下(中学3年生)	
①歯口清掃指導	
②食生活指導	
③歯科衛生教育・・・学校健診、保育所等での歯磨き指導(紙芝居等)等	
④その他・・・歯冠修復及び補綴物、矯正装置等の装着後の指導、外科手術後の指導	
※ 歯石除去、フッ化物塗布後の患者指導は歯科予防処置の一環とする。	
(3) 歯科診療補助	
①バキューム操作	
②印象材の練和	
③セメントの練和	
④スタディモデルの作製	4例以上
⑤レントゲンフィルムの位置づけ、現像	20例(20名)以上
⑥歯周組織検査(プロービング、BOP、動揺度、PCR)	10名以上
⑦保存修復・歯内療法の診療補助	
⑧歯周療法の診療補助	
⑨歯科補綴治療の診療補助	
⑩口腔外科処置の診療補助	
⑪歯科矯正治療の診療補助	
⑫小児歯科治療の診療補助	